（２）経済産業省製造産業局長賞

受　賞　者　名

ニッシン・パーテクチュアル株式会社　　中　村　　稔　殿

受賞取組の概要

取組実施に至る経緯

ニッシン・パーテクチュアル株式会社は 1973 年創業の金型製造企業として、高精度・多品種少量生産を強みとしてきたが、部品の微小化・高精細化が進む業界変化と労働人口減少に対応するため、2022 年にフェムト秒レーザー加工機を導入しレーザー事業部を立ち上げ。2023 年には生成 AI 事業部を立ち上げ、新規事業に積極的に取り組んだ。メンバー構成は社長中村稔が統括、鳥澤真奈美と中村環希が実務・サポートを担う。

実施した取組の内容、特徴

フェムト秒レーザー微細加工は、超短パルスで熱影響なく金属・プラスチック等を高精度加工し、金型・医療機器向けの微細形状を実現。生成 AI 事業部は ChatGPT 等を活用した社内効率化、外部コンサル・セミナー展開で、製造業の AI 人材育成(AI パスポート取得者輩出)を推進。これらは新規性が高く、社会課題(人手不足・精密需要)に対応した独創的な取り組み。

実施した取組の成果・内外への波及効果

フェムト秒レーザーで新規顧客 21 件増加、既存取引拡大。生成 AI でセミナー受講企業からコンサル契約獲得。社内では事務作業短縮で生産性向上、IT リテラシー底上げを実現。地域では DX イベント発表で他社 AI 導入促進、埼玉 DX 大賞優秀賞受賞(2024 年)し、メディア露出が増加。信頼向上と好循環を生む。

取組の定着、発展性

フェムト秒レーザー事業は医療・半導体をはじめとする幅広い市場に販路を拡大。生成 AI 事業は様々な団体・企業からセミナーやコンサル拡充で収益を多角化。2025 年にはロボティクス事業部を設立し搬送及び清掃ロボットの販売を進めながら、データ駆動型ロボットの研究開発を開始。めまぐるしい環境変化への持続的経営体制構築を進める。